

正  
算  
補  
予

# このように決めました 全会一致で可決

## 質 疑

**委員** 公共施設整備基金はいくらまで積み増しするのか。公共事業のあり方は。  
**当局** まちづくり複合施設の財源としては、おおむね一定のめどが立ったものと思う。今後の公共施設の維持、管理、修繕などにも弾力的に対応したい。

**委員** 森林・林業再生基盤づくり交付金の減額の内容は。  
**当局** 国の27年度のT P P 関連補正予算の中で、事業主体に対して直接交付される予算に乗り換えたための減額である。

公共施設整備基金の今後は

減額の内容は

### 一般会計補正の主なもの

公共施設整備基金積立（元金） 1億円

補正後残高見込額 11億5146万円

病院費（経営基盤強化費） 7000万円

病院事業会計の経営状況等を勘案した対応

経営体育成支援事業（農業） △1895万円

事業費の確定に基づく調整

森林・林業再生基盤づくり交付金事業

△8030万円

事業の実績に基づく調整

谷町八ヶ森線道路改良事業 △4536万円

事業費の確定に基づく調整

荒砥小学校大規模改修事業 1億8691万円

国の補正予算の採択により29年度予定事業を前倒して実施するため

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。



明るく生まれかわる荒砥小学校

平成28年度補正予算総括表				
会計名	補正額	補正後の額		
一般会計	7130万円	86億 921万円		
特別会計	下水道	△1億7221万円	5億8175万円	
	国民健康保険	1882万円	19億1681万円	
	農業集落排水	△1645万円	1億4945万円	
	介護保険	△3853万円	16億3240万円	
	後期高齢者医療	294万円	1億3932万円	
事業会計	病院	収益的支出	△106万円	11億7419万円
		資本的支出	△3072万円	9550万円

※万円未満は端数を調整しています。